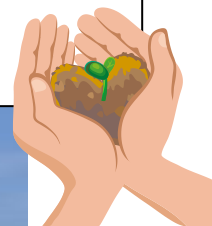


東日本大震災復興応援企画

ガレキを活かす 森の長城プロジェクト 今年も植樹ボランティア活動を実施しました！



5月28日（土）宮城県岩沼市長谷釜地区にて行われた
「第4回千年希望の丘植樹祭 2016」に
当社グループの有志 36名が参加しました！



2013年から始まったこのプロジェクトでは、
延べ**26,451人**のボランティアが
216,200本の苗木を植樹しています！！
(2015年12月現在)

会場には約 12,000 名の
参加者が集い、
計 10 万本の植樹をしました。

※詳細は「森の長城プロジェクト」HP <http://greatforestwall.com/>をご覧ください。

このプロジェクトは、2012年12月に仙台・仙台あおば支店が企画した新店舗移転記念セミナー「-森の力で甦れ-自然と調和した復興と再生」の開催にあたり、特別講師としてお招きした横浜国立大学の宮脇昭名誉教授から参画の依頼があったものです。宮脇教授は、「土地本来の潜在自然植生を復活させる」という信念のもと、今までに国内外1,700箇所に4,000万本もの植樹を行い、森の再生に情熱を注いでいらっしゃいます。

本プロジェクトは、宮脇教授の考える「ガレキを活かした森の防波堤」構想に基づいて行われ、三陸沿岸300kmにわたり、有害物質を除去した震災ガレキと土を混ぜ合わせた盛土を築き、そこに広葉樹の苗木を植樹して、土地本来の植生に基づいた森を作る計画です。完成した「森の防波堤」には、津波のエネルギー減殺と、盛土の斜面崩壊を防ぐ効果が期待されているほか、被災地の抱える大きな課題である震災ガレキ処理への新しいアプローチとしても、注目されています。



仙台・仙台あおば支店ではこのプロジェクトを新しい復興応援の形と考え、本年も活動への参加を決定しました。当日は、社員の他、社員の家族やグループ各社からも有志が集まり、植樹活動に取り組みました。昨年、私たちが植樹をした丘には、すくすくと育った苗が緑の葉を生き茂らせています。この活動に継続して取り組むことで、土地の再生と未来の防災に貢献できればと願っています。

これからも三井住友信託銀行は、未来に向けた震災復興企画に積極的に取り組んでまいります。

